

安心して暮らせる地域づくりを考える「天竜の郷地域福祉フェスティバル」が21日、久万高原町久万の町産業文化会館であり、町民

地域の魅力は日常に 久万高原



「共に創る地域の未来像」と題したシンポで、自らの取り組み事例などを紹介する登壇者

まちづくりフェス初開催

らがシンポジウムなどを通して意識を高めた。町内の経営者らでつくる実行委員会や町社会福祉協議会などが初めて開催した。「共に創る地域の未来像」と題したシンポジウムでは、NPO法人いよコロザン大学(松山市)の泉谷昇理事長や、今治市玉川地区でさまざまなかな地域おこしに関わった「森のともだち農園」の森智子代表らが

泉谷理事長は、町内でトレッキングなどを行った実績を振り返り、「地域の魅力は歴史建造物や景勝地に限りらず、日常にあふれており」と訴えた。森代表は地元の生活研究協議会を復活させたことなどに触れ、「小さなサイズでもいいので自分の居場所や役割が見つかれば、町に愛着が湧いてくる」とアドバイスした。

(柳生秀人)